

令和8年度第1回西仙北地域協議会会議録

令和8年5月22日

西仙北地域協議会

令和 8 年度第 1 回西仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	2
■開催会場	2
■出席委員	2
■欠席委員	2
■出席職員	2
■次第	2
■開会	3
■支所長あいさつ	3
■委嘱状交付	4
■職員紹介	4
■令和 8 年度主要事業について	4
■地域協議会の目的について	4
■会議録署名委員の指名	5
■議題	5
(1)会長及び副会長の選任について	5
(2)令和 7 年度地域枠予算活用実績について	7
(3)令和 8 年度地域枠予算申請状況について	7
(4)地域資源活性型事業について	7
■その他	
(1)スケートボードパーク設置に関する説明（大綱交流館より）	9
■閉会	13
■署名	14

■開催日時：令和 8 年 5 月 22 日（金）9 時 50 分から

■開催会場：大仙市役所西仙北庁舎 3 階第 1 会議室

■出席委員：10 名

齊藤英子委員	嵯峨康弘委員	佐々木月野委員	佐々木康昭委員
出雲勲委員	佐々木博幸委員	藤原由子委員	齋藤法委員
五十嵐美津子委員	今田秀俊委員		

■欠席委員：5 名

伊藤真弓委員	佐々木淳弥委員	佐々木道義委員	鈴木聡美委員
大嶋英紀委員			

■出席職員：10 名

原真紀子（支所長）	齊藤良子（市民サービス課長）
佐藤由美子（農林建設課長）	高橋完（用地対策課長）
佐川悦章（西仙北・協和建設水道事務所長）	
加藤康子（健康増進センター西部主幹）	
渡部千浩（高齢者包括支援センター西部参事）	遠藤隆伸（大綱交流館館長）
佐藤恵里子（地域活性化推進室主幹）	池田水葵（地域活性化推進室主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 支所長あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 職員紹介
- 5 令和 8 年度主要事業について
- 6 地域協議会の目的について
- 7 会議録署名委員の指名
- 8 議 題
 - (1) 会長及び副会長の選任について
 - (2) 令和 7 年度地域振興事業実績について
 - (3) 令和 8 年度地域振興事業申請状況について
 - (4) 地域資源活性型事業について
- 9 そ の 他
 - (1) スケートボードパーク設置に関する説明（大綱交流館より）
- 10 閉 会

○齊藤課長

本日はお忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございました。ただいまから令和8年度第1回西仙北地域協議会を開会いたします。本会議に入る前に資料の訂正をお願いします。次第の7番が「会議事録署名委員」となっていますが、正しくは「会議録署名委員」でございます。修正をお願いいたします。次第に沿って進めさせていただきます。次第の2番、原支所長がご挨拶申し上げます。

○原支所長（以下、「支所長」と表記する。）

支所長の原真紀子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、ご多用のところ、今年度第1回の西仙北地域協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より、委員の皆様には、それぞれ関係されておられます本市の施策にご理解をいただき、一人何役もご協力を賜っておりますことに対し、重ねて感謝を申し上げます。

さて、大仙市は昨年度、合併20周年を迎えました。

この20年を振り返ってみますと市としての一体感の醸成など、良くなっている面もあるのですが、人口減少・少子高齢化が進み、行政の力だけでは、今後安心して暮らし続けることが困難になってくることが危惧されている現状であります。

こうした中、令和8年3月に市の最上位計画である、第3次大仙市総合計画が策定されました。皆様のお手元にも配布してございます。合併当時とは異なる地域課題の顕在化や不安定な世界情勢、物価高騰、激甚化する自然災害に備える防災対策、デジタル化の進展など数えきれない行政課題に対応することが求められております。

こうした課題や変化に対応するため、計画を策定するに当たり、まず、将来のあるべき姿を描き、何を推進してどこを目標値とするのかを逆算していくという手法を取って策定しております。

私はこの計画を見まして、それぞれ立場や取り組み方は違うのですが、どうすれば大仙市が続いていけるのか、そして西仙北地域が続いていけるのかを常に念頭に入れながら、皆様と一つひとつの課題に取り組んでいきたいものだと感じたところです。

新たなまちづくりの羅針盤となる計画でありますので、後ほどご覧いただければと思います。

さて、本日の地域協議会ですが、今年度が第7期として始まるの年となります。西仙北地域の令和8年度主要事業紹介のほか、改めて、本協議会の目的の説明や地域振興事業の実績など様々な議題をご審議いただくこととなっております。皆様の率直なご意見を賜りますようお願いを申し上げます。挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○齊藤課長

次第の３番、委嘱状交付を行います。なお、委嘱状は市長に代わり原支所長が交付いたします。お名前をお呼びしますので、その場でご起立願います。

【出席委員 10 名に委嘱状交付】

これをもちまして委嘱状交付を終了いたします。

○齊藤課長

続きまして、次第の４番、職員紹介をいたします。

【職員自己紹介】

市民サービス課

農林建設課

高齢者包括支援センター西部

健康増進センター西部

用地対策課

西仙北・協和建設水道事務所

大綱交流館

地域活性化推進室

○齊藤課長

次第の５番、令和８年度主要事業について、説明します。

【各課より主要事業の説明】

○支所長

以上、西仙北支所では、このような体制で取り組みして参りますのでよろしくお願いいたします。

○齊藤課長

続きまして、次第の６番、地域協議会の活動目的について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

【配布資料に基づき説明】

○齊藤課長

ただいまの説明についてご質問はありませんでしょうか。何かありましたら、協議会後でも対応させていただきますので、事務局までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

○齊藤課長

議題に入る前に、次第の 7 番、会議録署名委員の指名について、会議録署名委員には、出席委員から名簿順に、齊藤英子（サイトウ エイコ）委員と嵯峨康弘（サガ ヤスヒロ）委員をお願いします。なお、本日出席委員は 15 名中 10 名で、2 分の 1 以上出席しております。よって、会議は成立していることをご報告いたします。

○齊藤課長

それでは、次第の 8 番、議題に移りたいと思います。

(1) の会長及び副会長の選任についてですが、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第 6 条第 1 項の規定により、会長 1 名、副会長 1 名を委員の互選により、定めることとなっております。互選の方法等についてご意見等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

○今田秀俊委員（以下、「今田委員」と表記する。）

私は、大仙市商工会女性部の藤原由子（フジワラ ヨシコ）委員を推薦したいと思います。理由としては、前々から大仙市商工会女性部の皆さんがご活躍されているのは存じ上げておりましたし、いろいろな人との関わり合いが大事な役職だと思いますので、推薦したいと思います。

○齊藤課長

ただいま、藤原由子委員が推薦されましたが皆様いかがでしょうか。

他にご意見等がないようですので、藤原由子委員に会長をお願いしたいと思います。

[拍手]

○齊藤課長

ただいま、藤原由子委員が会長に決まりましたので、藤原会長は席の移動をお願いします。

第 7 期西仙北地域協議会 藤原由子会長よりごあいさつをおねがいいたします。

○藤原由子会長（以下、「会長」と表記する。）

この度、西仙北地域協議会の会長に任命いただきました藤原由子と申します。これまで前会長や委員の皆様が活動にご尽力いただいたことに感謝申し上げます。会長という大役に身が引き締まる思いですが、地域の皆様が健康で安心して住みやすい活力ある地域づくりに皆様の力を合わせて取り組んで参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

○齊藤課長

ありがとうございました。

この後の議事進行につきましては、条例第8条第4項の規定により会長が務めることになっておりますので、藤原会長、よろしくお願いいたします。

○会長

議事を進行させていただきます。

引き続き、議題（1）副会長の選出について、皆様から何かご意見等はありませんでしょうか。

意見がないようですので、事務局側で提案がありましたら、委員の皆様に提示願います。

○事務局

出雲勲委員を推薦します。

○会長

ただいまの案に対しまして、何かご意見等ありませんでしょうか。

○会長

それでは、異議がないようですので、副会長を出雲勲（イズモ イサオ）委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

〔 拍手 〕

○会長

また、大仙市地域公共交通活性化再生協議会委員についても選任することとなり、私からの推薦として齋藤法（サイトウ ノリ）委員にお願いしたいと考えおります。委員の皆様よろしいでしょうか。

[拍手]

○会長

齋藤委員、大仙市地域公共交通活性化再生協議会委員として、よろしくお願いします。

次に、大仙市福祉関係計画等審議委員会委員についても選任することとなっており、私からの推薦として嵯峨康弘委員にお願いしたいと考えおります。委員の皆様、よろしいでしょうか。

[拍手]

○会長

嵯峨委員、大仙市福祉関係計画等審議委員会委員として、よろしくお願いします。

○会長

続いて、議題（２）令和７年度地域振興事業実績について事務局から説明をお願いします。

○事務局

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。

○会長

意見がないようですので、議題（３）令和８年度地域振興事業申請状況について事務局から説明をお願いします。

○事務局

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。意見がないようですので、議題（４）地域資源活性型事業について事務局から説明をお願いします。

○事務局

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。

○出雲委員

事業実績の中のワークショップ「刺身と癒しとモルックと。」のイメージが湧かないのですが、どのようなことをされたのでしょうか。

○事務局

「刺身」は、和栄堂さんの人気商品である「コーヒーマの刺身」を別の味で作って、味見してみるとというワークショップです。「癒し」は、ヘアサロン理容コンダの方がにしせんの“わ”の実行委員で、その方が爪磨きや手のマッサージ、保冷剤を活用したアロマジェルづくりを実施しております。「モルック」は、子どもたちがモルックを体験したものです。初めて実施したので、簡単に対決できるような内容にして、親子で一緒に楽しめるような事業にしました。このような内容でしたので、「刺身と癒しとモルックと。」というタイトルをつけさせていただきました。分かりづらく、申し訳ございませんでした。

○出雲委員

モルックというものは、どのようなものですか。

○会長

木がボーリングのピンのように立っていて、それを木の棒を投げて倒してその木が倒れた本数やピンに書いてある点数を競い合う競技です。私はやったことはありませんが、結構流行ってますよね。

○事務局

今年度もモルックの簡単な大会を実施したいという案はありますので、是非その際にご参加ください。

○会長

私の方から、にしせんの“わ”実行委員会についてですが、年3回程度と先ほどおっしゃっていましたが、資料には年4回程度と記載があります。こちらは年3回程度の認識でよろしいでしょうか。

○事務局

はい、問題ございません。ご指摘ありがとうございます。

○会長

私にもしさんの“わ”実行委員会に参加させていただいておりまして、地域の皆さんが小さなお子様からご年配の方まで参加していただけるように一生懸命取り組んでおります。直接刺身も食べるわけではないですけども、そういうものもあるんだなと気にかけていただき、自分が参加できなくても色んな周りの方に「面白いことをやっているみたいだよ」とお伝えしていただければと思います。地域づくりは他人事ではなく、自分事としてとらえていただき、皆さんからも積極的にご意見を述べていただいたり、活動していただいたり地域について考えてもらえればと思います。

他にご意見等がないようですので、本日の全ての議題について、審議を終了しました。ご協力ありがとうございます。

この後については事務局にお戻しします。

○齊藤課長

委員の皆様、ご審議ありがとうございました。次第の9番、その他に移りたいと思います。

(1) 大綱交流館よりスケートボードパークについて、説明をお願いいたします。

○遠藤館長

【配布資料に基づき説明】

○今田委員

せっかく作るなら、もう少し大きい施設や夜間も使える施設を検討していただきたいと思います。

○遠藤館長

ご意見ありがとうございます。大きい施設をつくりたいという気持ちはありますが、あちらからの要望が西仙北スポーツセンターの敷地だったことから、このような説明資料になっております。実際ににかほ市は以前住宅地にスケートボードパークがあったそうですが、近くの住宅と50mほどしか離れていなかったとのことで、その際、苦情が多々あり、郊外に再度作り直しました。大きい施設を作ってしまったからだと、騒音問題などで苦情が来ってしまうとなかなか厳しいものがあり、今のままだと300㎡かと思いますが、今田委員の意見も検討材料とさせていただきます。また、夜間に関しても設置の要望をいただいている団体の意見も踏まえて、今後の協議で夜間もやりたいとの意見があれば、検討材料として進めていきます。しかし、夜の騒音の

問題もあります。今まで夜間にスケートボードの音が全くなかったところで音が出るとなるとどうなるのかという問題もあると思います。まずは今後の参考意見とさせていただきます。ありがとうございます。

○今田委員

スポーツセンターありきで物事が進んでいるようですが、都市計画区域に入っているスポーツセンターとは違い、強首や大沢郷に小中学校跡地など都市計画区域に入っていない場所で行うならば、騒音などの問題も小さくなるのかなと思います。ですので、事業が始まる段階で場所などについてもう少し考えていただければと思います。

○遠藤館長

場所についても検討材料とさせていただきます。ご意見ありがとうございます。

○出雲委員

資料を拝見して一番大事なものが欠落しているように感じました。建設費はいくらかかる想定ですか。

○遠藤館長

「アイテム」という滑るものに使う素材・形態によって大分上下しますが、要望団体が要望したものに関してはその当時で約3,000万円ですが、要望を受けた時点でのものですので、必ずしもその金額になるという訳ではございません。設置するとなったときにまたその団体ともこれから打ち合わせをしていきますが、今イラン情勢により物価も上昇しておりますので、まだ「アイテム」と下地をどうするかなどで金額がかわってきます。下地をアスファルトにするか、コンクリートにするか、買った「アイテム」を設置するか、コンクリート製にするかなどで値段が全く違いますので、現段階ではいくらになるというのは言えませんが、要望された当時の値段で言うともう3,000万円くらいです。

○出雲委員

市のつくるものの予算を住民の立場で見ていると、当初3,000万円となっていてもだんだん予算が膨らんでいって最終的にその倍の金額になっているケースがよくあるので、今お示しいただいた金額は眉唾物だと思っております。今の市の財政で3,000万円のお金をかける必要があるのか疑問です。この資料をいただいてから読み返しておりましたし、今の話を伺ってもこの施設の設置になんの必要性も感じません。子どもの育成のためなどと書いてはありますが、まずは公衆トイレの修理など、他にやるべきことがあるのではないのかというのが私の本音です。決して市の財政も豊かではないと思いますし、私は現段階では設置に反対します。ただ、唯一今の話を聞いてやり

ようがあると思ったのは、土地だけ市から提供して要望団体が中心になってクラウドファンディングなどを使って費用を集めてやるのなら私は反対しません。また、この積雪地帯でこのような施設をつくった場合、維持費はどのようなになるのでしょうか。他地域の施設は使用料無料になっておりますが、お金を取らない施設をつくって傷んだら修理するお金がなくて、ほったらかしになってしまうのではないかという懸念をしております。私は、今申し上げた理由でこの施設をつくる必要性を感じません。ですので、現段階では設置に反対をします。

○遠藤館長

貴重なご意見ありがとうございます。反対するとよくないなどではなく、どんな意見もこちらの検討材料にしたいと思っております。最初の予算の関係ですが、にかほ市に関しては助成とクラウドファンディングを使って当時珍しかったこともあり、2億円以上の資金が集まって、今もそのときのお金が余っていると聞いております。次に冬期間の維持管理についてですが、西仙北よりも雪が多い横手市がつくった施設は20年以上前にできたもので、今まで修繕をしたことがないそうです。その施設はコンクリート製で、付随しているトイレ棟は修繕をしたことがあるようですが、スケートボードパークに関しては1円もかかっていないとのことでした。にかほ市もコンクリート製です。冬場も特に何もしていないようです。ただ、工期が2年かかったせいでモルタルにヒビが入り、その修繕をしたことはありますが、スケートボード愛好家の方々に材料を渡すとその方々がやってくれるようです。ですので、モルタルの費用は掛かっているけれども、冬期間はほったらかしだと伺っております。

まず、この施設がつくられるかどうかはまだ確定していないことですので、意見として検討材料にさせていただきます。

○会長

私はスケートボードをテレビで見るくらいにしか分かりませんが、この施設をつくることによって大仙市に交流人口が増えて、お店など商売をしている方のお客さんが増えるなどもあるのかなと思いました。また、強首や大沢郷に土地があるという話がありましたが、無料でも有料でも常駐する管理人がいけないからスポーツセンターなのかなと思いました。スポーツセンターとは別の場所に作るとなると、管理人をまた別で配置しないといけないのでまたお金がかかり、予算が膨らんでしまうという問題も発生してしまうのかなと思います。

いずれにしても、屋根がついていれば365日利用できるのではないかと感じました。

また、オリンピック選手を大仙市から出すという目標があるのであれば規模が小さいのではないかと思います。地域住民が趣味の範囲でやるくらいであれば小さくても遊べる場所という感覚で良いのかなと思います。市としてはどこをターゲットにして

いるのかお聞きしたいです。要望団体の「やりたいからつくってほしい」というのだけでは、この施設をつくる理由として足りない気がします。ただ、西仙北にあれば秋田市からも近いので来やすいのではないかと思います。維持費もかかってくると思いますし、予算のこともあると思いますのでターゲットなどを含めてよく考えていただければと思います。

○遠藤館長

規模が小さいとありましたが、団体からの要望に沿った形だとこのような感じです。初心者でも楽しめる施設が欲しいとのことでした。にかほ市、横手市ともに一番来るのはどこからかという秋田市からだそうです。にかほ市は山形県に近いこともあって、そちらからも結構来るようです。また、この辺の競技者も県外に行って練習しているという話もありました。要望団体からの話によると、横手市でスケートボードのイベントを開催すると、2,30～50人くらい集まるそうです。ほぼ秋田市来ているとのことでした。近くの大仙市、美郷町、横手市の方も来るそうですが、やはり半分以上は秋田市の方なので、秋田市には競技人口がたくさんいるように思われます。

ターゲットをどこに絞るかということですが、40代未満の若い世代をターゲットに考えています。私たちが小さいころ、スケートボードの第1次ブームだったように思われます。その子、孫たちがやっているのかなと思います。4月11日に近隣住民に向けて説明会を行いました。その時は是非この施設をつくってほしいと小野町内会からはお話をいただきました。もっと立派な施設をつくってほしいという意見もありました。

委員の皆さんの意見にあった場所や規模、予算、ターゲットについても再度検討材料とさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。

○齊藤課長

大綱交流館からの説明に関しての意見、質問等はここまでとさせていただきます。他に何かある方はいらっしゃいますでしょうか。

○佐川所長

市道松倉土川線の土砂崩れに伴う通行止めについて説明します。当初片側交互通行としておりましたが、地滑りの兆候があり、現在全面通行止めとしております。今後地滑りの調査や測量を行う予定です。調査には時間がかかる見込みですので、迂回へのご協力をお願いします。

○事務局

7月7日の「地域づくりアカデミー」の案内を配布しております。今年度の大仙市地域協議会委員研修会ですので、是非ご参加ください。

○齊藤課長

次回の地域協議会の開催については、後日書面にてご連絡いたしますので、よろしくをお願いいたします。

以上をもちまして、令和８年度第１回西仙北地域協議会を閉会いたします。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。

(9 時 50 分開会)

(11 時 35 分閉会)

西仙北地域協議会運営規定第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

嵯峨 康弘

齊藤 英子